

ふーのぼうけん



絵 小嶋
文 山下 山本

英理女子学院高等学校

この絵本の3つのルール

かんがえる

つたえる

**おともだちの
かんがえを
ひていしない**

① **かんがえる** . . . ふーと いっしょに かんがえよう

② **つたえる** . . . じぶんの かんがえを つたえよう

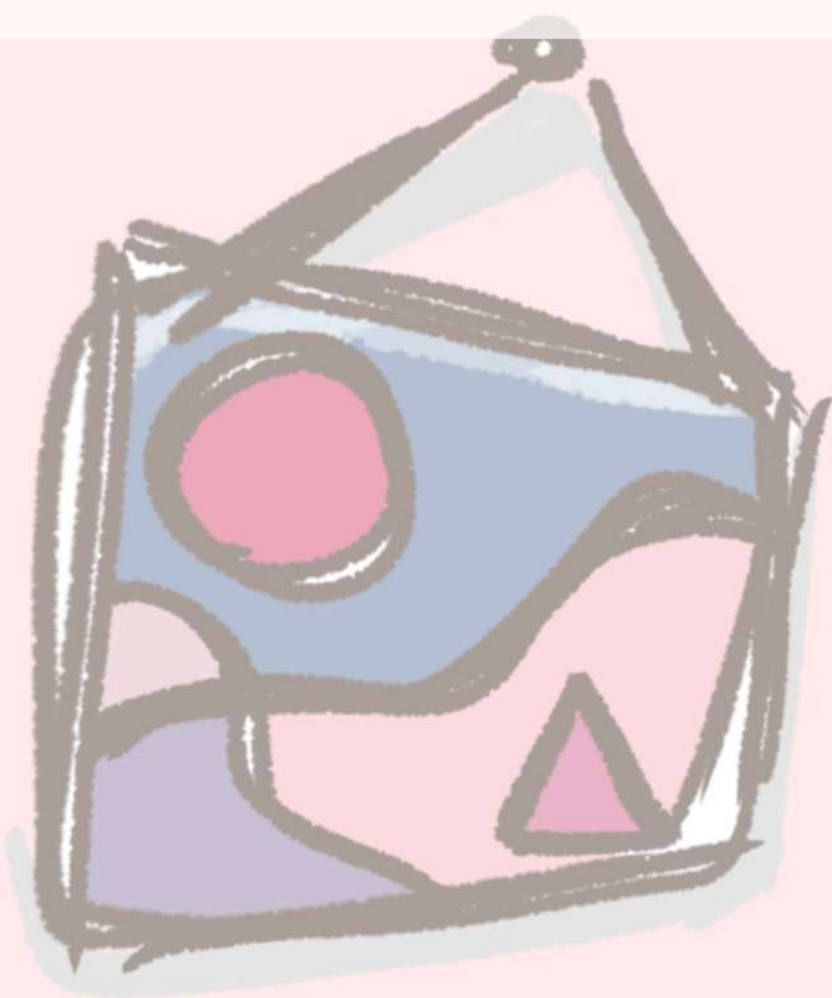
③ **おともだちの かんがえを ひていしない**

. . . みんなと ちがうことは まちがいではないよ

ふーは おかあさんと いっしょに なかよく
くらしています。

きょうは おかあさんの おともだちが くるひです。
「おむかえにいつてくる。」

きょうは そとに でたい きもちだったので
ふーが おむかえに いくことに しました。

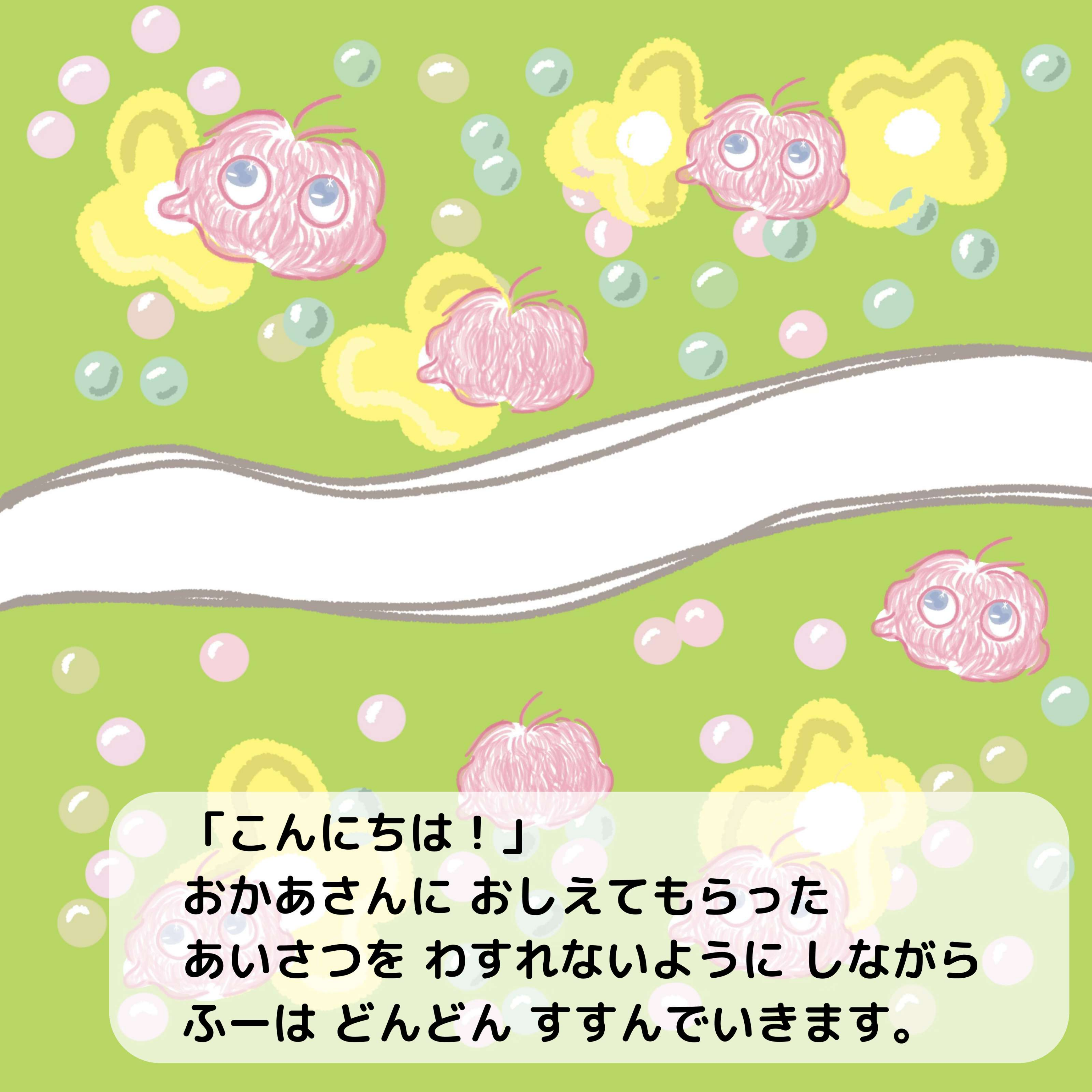


「きをつけていってらっしゃい。」
おかあさんの ことばを きいて
ふーは げんきよく おうちを とびだしました。



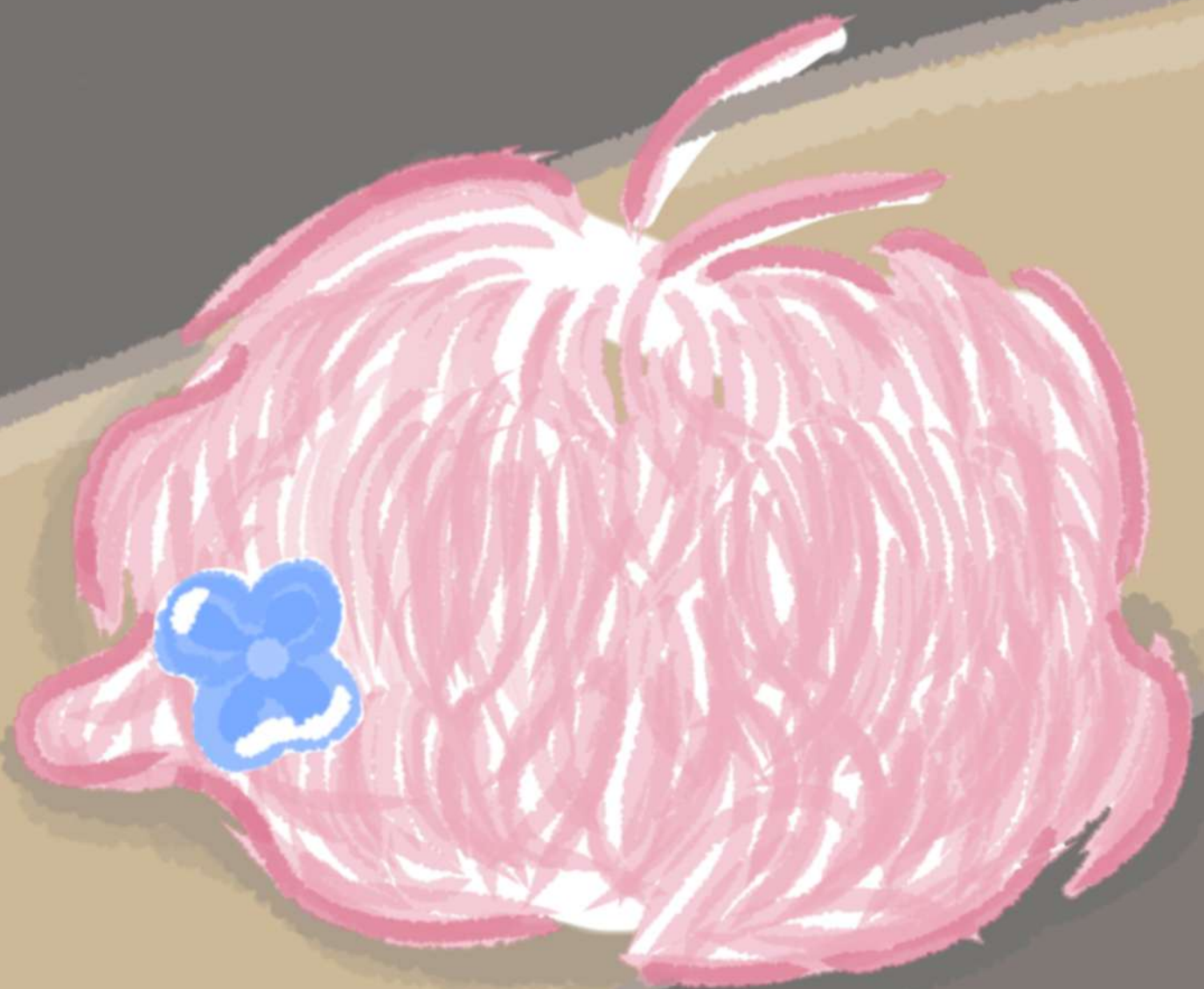
おうちの ちかくの おはなばたけには
ふーと おなじすがたの なかまが たくさん！





「こんにちは！」
おかあさんにおしえてもらった
あいさつを わすれないように しながら
ふーは どんどん すすんでいきます。

このみちを めけると ようやく
まちあわせの ばしょです。



ふーは そのおともだちに あったことが
ないので ドキドキ しています。



まちあわせの ばしょについた ふーは
だれかが いることに きがつきました。
しかし・・・





「カクカクしてて へんな
かたちだな。」

「ぼくとは ちがうな。」
ふーは そうおもって
しまいました。

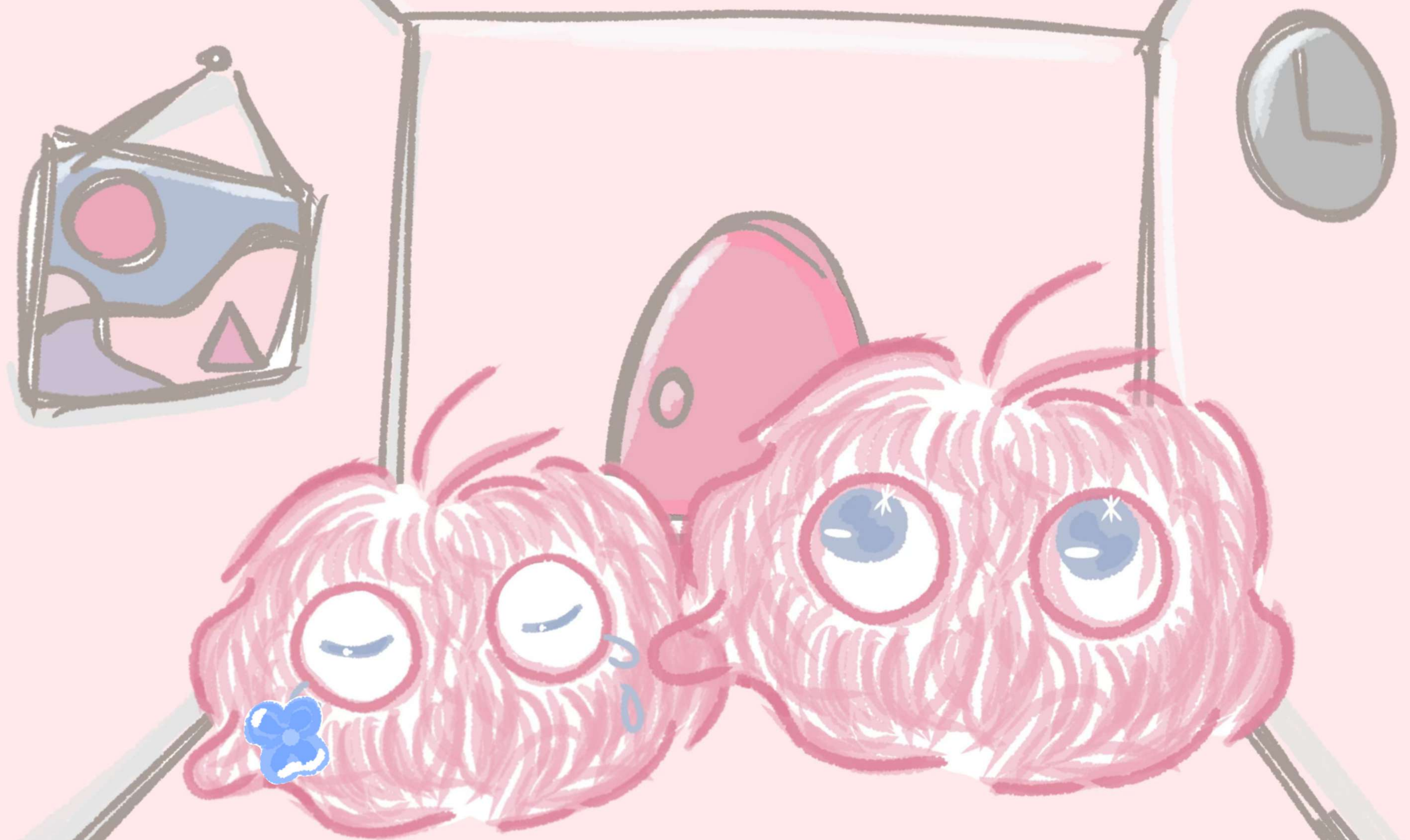


こわくなった ふーは そこにいた だれかに
こえもかけず きたみちを いそいで
もどりました。



ふーは いえに もどって おかあさんに
このことを はなしました。

「知らない だれかが いたんだよ。
カクカクしてて、あおかった。こわかったよ〜。」



おかあさんは おどろいて いいました。

「それは おかあさんの ともだちよ。

かえってきちゃったのね？

ともだち まだまっているとおもうから むかえに
いってくれる？」



ここでクイズ!!

ふーの どこが変わったのか かんがえてみよう

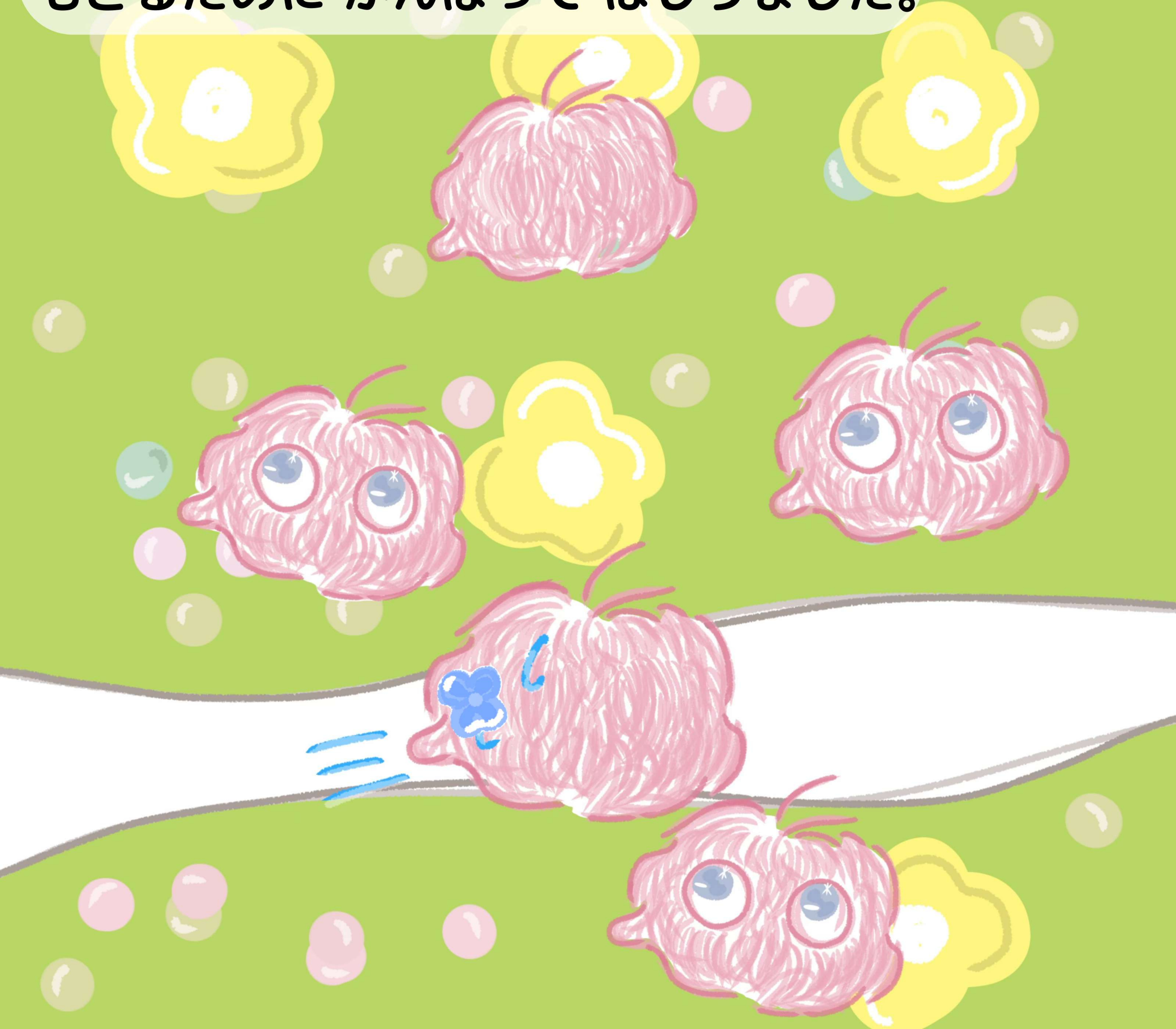
「みたことない からだから へんだと
おもってにげちゃった。
おともだちに わるいことしちゃったな。」
ふーは おもいました。



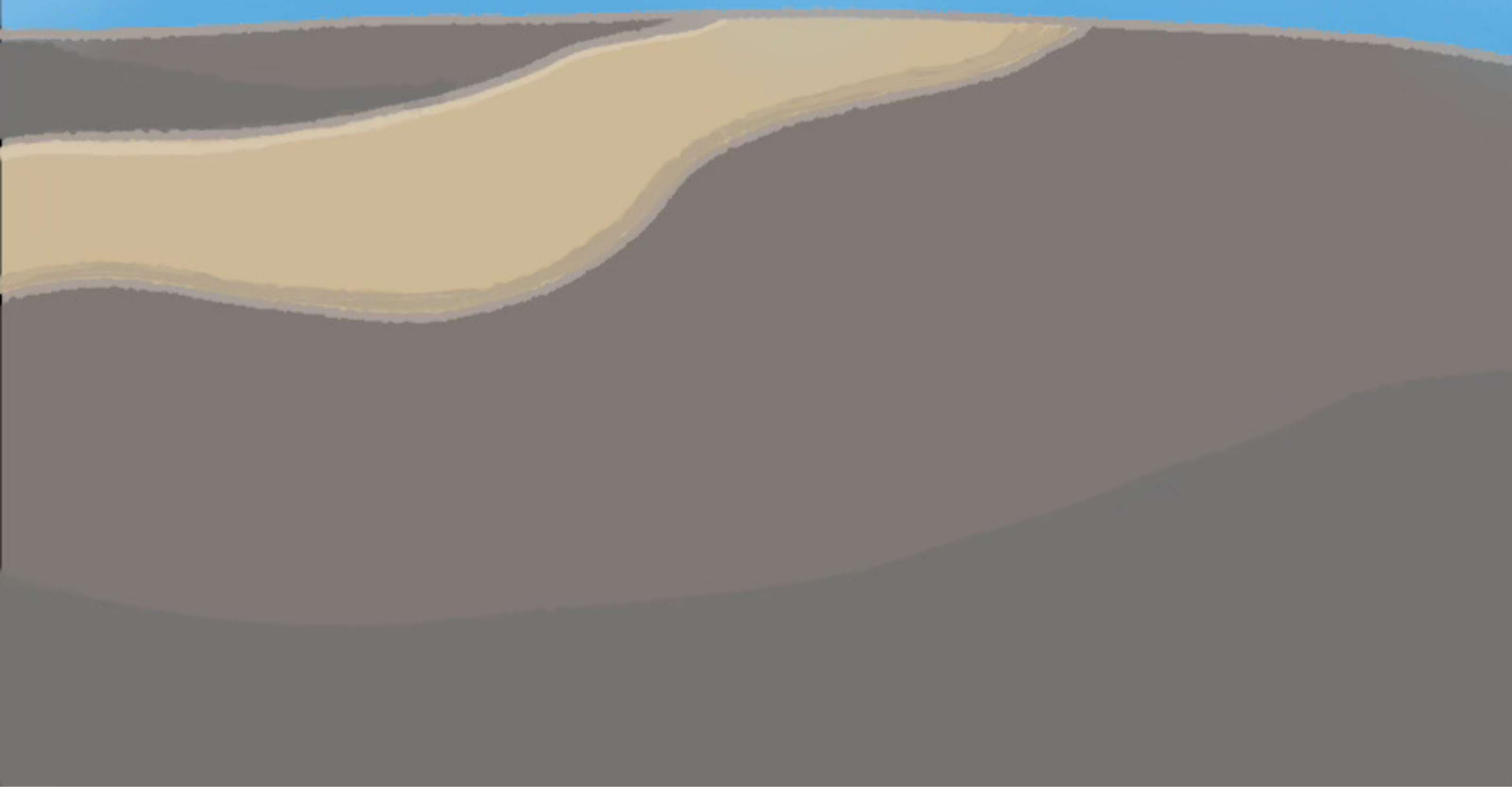
「ぼく もういちど おともだちの
ところへ いったくる！」
「おねがいね。」



ふーは はやく おともだちのところに
もどるために がんばって はしりました。



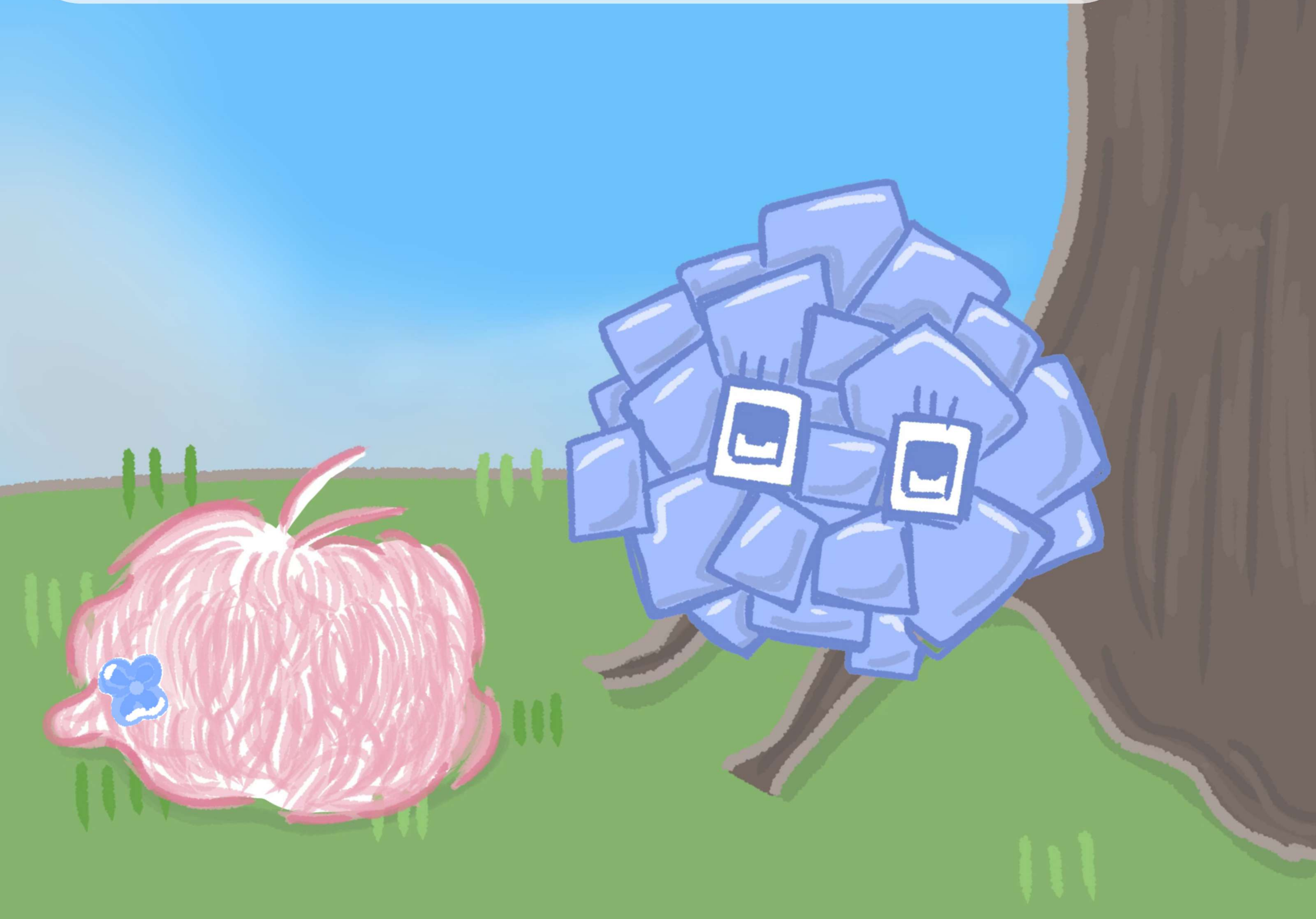
「いそげ！ いそげ！」





「いそげ！ いそげ！」

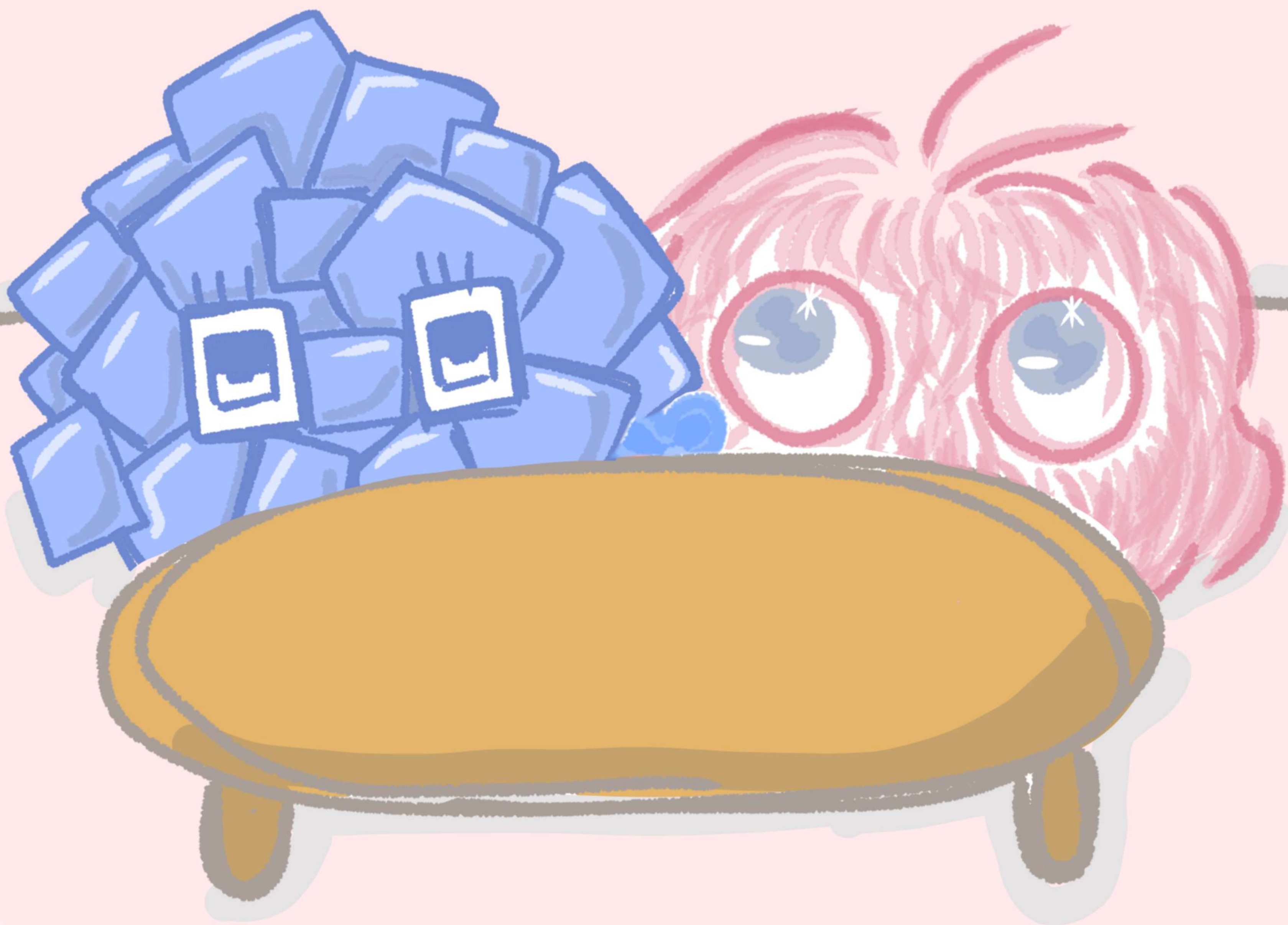
きのしたに ついた ふーは
おかあさんの おともだちを みつけました。
こんどは 「こんにちは！」と
げんきよくこえを かけました。



「こんにちは ぼくを むかえに きてくれたの？
ありがとう。」
おともだちは えがおで いいました。



ふーと おともだちは
おうちで いっぱい あそびました。



さよならの じかんになりました。
「こんどは ぼくのまちに あそびに きてね。」
「うん、わかった！」
ふたりは やくそくをして おわかれしました。





「これからいろいろなまちにいて
いろいろなひとたちにあおう。」
ふーはそうきめて
ねむったのでした。

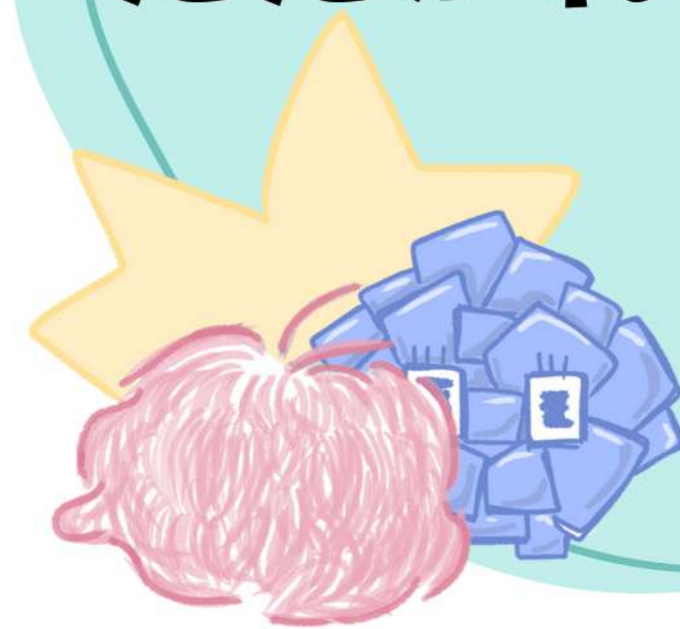
おしまい

いじめってなんだろう

いやなこと
はずかしいことを
されたり いわれる

なかまはずれや
むしをされる

たたかれたりする



この3つのほかにも たくさんの いじめが あります。
すこしでも おともだちが いやだなと おもったら
それは いじめに なってしまいます。

みんなが かなしい おもいを しない ために
ともだちのことをしろう！

やられた おともだちの きもち

- かなしい • いやなきもち
- さみしい • こわい

やってしまう おともだちの きもち

- いらいらする • いじめられるほうがわるい
- すこしたのしい • すこしからかっているだけ
- いじめているつもりはない

きづいているのに みているだけのひとや いっしょに
なって おもしろがって いるひとも いじめているのと
おなじです。

もし いじめられたり いじめられているのをみたら

どうすればいいの??

1

**おかあさんや おとうさんに
そうだん**

2

**せんせいや そうだんしつの
せんせいにそうだん**

3

**ちいきの いじめそうだん
でんわにかける**

あとがき

ふーの ぼうけんを よんでくれて ありがとう。

みんな ちがって みんな いい。

ひとを きずつけては いけない。

あたりまえかも しれないけど、いがいと わすれて しまう
ものです。

もし わすれて しまっているこが いたら やさしく
おしえて あげて ください。

わたしたちは みなさんが いじめを するがわにも
されるがわにも ならずにおとなになることを ころの
そこから ねがっています。

保護者の方や先生方へ

今回は「ふーのぼうけん」を手にとっていただきありがとうございます。

この絵本の目的はいじめについて「考えること」です。

小学校に入る前からいじめに対して自分の考えを持ち、それを発表できる環境を知ることが自分の身を守ることとして他人を攻撃しないことに繋がると考えてこの絵本を制作しました。

大人の皆様にとってもいじめについて考え直すきっかけのようなものになればいいなと考えております。





アンケート回答のお願い

「ふーのぼうけん」についての
アンケートにご協力お願いします。
また絵本のダウンロードは右下のQRコードから
行うことができます。ぜひご活用ください。



アンケート



ダウンロード